



翼



第2号 令和6年5月8日 発行

「別れと新しい出会いへ」

5月2日(木)に離任式を行いました。ひばりが丘中学校の生徒たちのために頑張ってきた先生方へ、生徒の代表が感謝とお別れの言葉を伝えました。それぞれの先生方から生徒の皆さんへ最後のメッセージをお話いただきました。

<異動した先生からのメッセージ(抜粋)>

◇自分のひらめきや発想を大切に、失敗はたいしたことはないと思ってほしい。むしろ発見であり次はこうやってみようという挑戦につながるのだ。そして人は一人では生きることができない、どうかまわりの人に感謝出来る人になってほしい。

(遠藤正樹)

◇今、私は44歳で、生徒が生き生きできる学校を作る校長になりたいくて副校長になった。この年でも夢の実現の途中。皆さんも夢をもってあきらめずに頑張ってください。(渡邊功)

◇ひばりが丘中学校は以前に6年間、今回5年間とトータルで11年間お世話になり大切に大好きな学校。何事にも一生懸命取り組む生徒、そしてそれを支える先生達がいる、3年生が1、2年生に良い伝統のバトンを渡していく学校。いつまでも大好きな存在であってほしい。(當麻忠幸)

◇「友」の古代文字は、「手と手を取り合う」ことから作られている文字。手を取り合うとは、歩み寄る、声をかける、挨拶をするということ。そしてそれは相手の気持ちに立って行動するという。皆さんも誰かにしてあげられる存在になってほしい。(藤井ゆうみ)

◇私が転職したのは、決して学校や教員という仕事が嫌だからではない。人生、色々なことに挑戦したい。もっと勉強したい。学んで成長することは自分や人生が豊かになるということ。そのためには努力することが大切。私もこれからたくさん努力したいと思っているが、皆さんも努力してほしい。(新保景史郎)

◇私は、自分の母校に転勤した。校歌なんて今まで思い出したこともなかったのに、1小節聞いただけで校歌を思い出して歌うことができた。忘れたと思っていた、経験したこと、繰り返し覚えたことは、人間は頭の隅に覚えているものだ。皆さんもそんな経験の日々を大切にしてください。タンポポは背が低いところが植物の性質、そしてそれは弱みだけれど、踏み固められた隅っこに咲くタンポポはその弱みを強みにできている。皆さんは自分の弱いところにしっかり向き合いそれを生かしていきましょう。(長沢桐奈)

<令和6年度の着任者から～よろしくお願いします>*****

◇市内保谷小学校から異動してまいりました。3年ぶりの中学校になりますが、保護者、地域の皆様のご協力のもと、子どもたちが明日も登校したいと思える安全・安心な学校を目指し、教職員一同尽力していきます。よろしくお願いいたします。(村松 健)

◇小平市立小平第五中学校から異動してまいりました。教科は英語科です。約二年間産休育休で現場を離れておりました。久しぶりの学校、そして新しい学校への着任で新鮮な気持ちと、これからのひばりが丘中学校での生活への期待でいっぱいです。一生懸命頑張りますので、保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。(福原奈苗)

◇東大和市立第一中学校から異動してまいりました。教科は社会科です。皆さんが卒業するときに「ひばりが丘中学校でよかったな」と思えるようにサポートしていきたいと思っています。皆さんと一緒に一生懸命に過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。(阿部克彦)



◇八王子市立浅川中学校から異動しました。1か月生活してみてひばりが丘中学校はみんなが真面目で、一つのことに前向きに頑張れるところが素晴らしいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

(野田剛)

◇世田谷区立深沢中学校からまいりました、国語科の安藤です。着任をして既にたくさんの笑顔や優しさに触れさせていただいています。ご縁を頂きありがとうございます。よろしくお願いいたします。

(安藤紗智)

◇新規採用として着任いたしました、英語科の並木です。皆さんの新しいスタートを全力でサポートし、一緒に成長していく一年にしたいと思います。(並木育美)

◇新規採用で東海大学からまいりました。IJ学級の保健体育科です。初めての教員生活をひばりが丘中学校の皆さんと過ごすことができ光栄です。どうぞよろしくお願いいたします。(遠藤吟弥)

◇田無第一中学校から異動して参りました、IJ学級に所属します。生徒一人一人が自分の良さに気付き、自分の持ち味を発揮できますように、寄り添っていききたいと思います。(細内尋秋)

◇市内の小学校から異動してきました。小学校とは全く違う光景で、とても新鮮な毎日です。

ひばりが丘中学校の皆さんの学校生活を見守っていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

(富田麻奈美)

■各学年の経営方針～保護者の方のご協力、ご支援をどうかよろしくお願いいたします。

《一学年経営方針》学年主任 主任教諭 加瀬真実

社会に出て自分自身の力で生きていく大人になるために、3年間を通じて「自主・自立」を目標とします。第一学年での重点目標は①自ら考え協力し合いながら主体的に動ける集団をつくる。②お互いを認め合い思いやりの心をもって人と関わる心を育てる。③何事にも真剣に全力で取り組む姿勢を身に付ける。としました。

《二学年経営方針》 学年主任 主幹教諭 豊島雅代

「己を知り、さらなら高みへ」を今年のスローガンに次の5つを重点目標にします。

①自分自身を理解し、良い面や得意なことを伸ばして行く集団 ②失敗を恐れずに全力でチャレンジする集団 ③お互いを認め合い、助け合える、思いやりをもった集団 ④基本的生活習慣を身に付けた集団 (あいさつ、1分前着席、遅刻をさせない) ⑤授業を大切にし、主体的に考え行動し、夢の実現を目指して未来を切り開く努力をする集団

《三学年経営方針》 学年主任 主幹教諭 伊藤大

3年間を通じて、どんな生徒も絶対に見捨てない、「教育に対する熱い情熱」と「生徒に対する深い愛情」をもって学年全員で支援し何事にも主体的に粘り強く取り組み行動していく「たくましい」生徒の育成を目指します。第三学年では「自主・自立」を目標に掲げます。一年次で築いてきた「けじめ」と「思いやり」を、2年次では「根気と責任」で習慣づけてきました。その積み上げを土台に3年生では「自ら判断して率先して行う姿勢(自主)」を上級生として「自らの力で自分の目指すべき道に進んでいく(自立)」学年を作ります。

《IJ学級の経営方針》 学級主任 主任教諭 山本達也

「一人一人の能力や可能性を最大限伸ばし将来の自立した社会生活につながる生きる力を育てる」

I学級：健康でしなやかな体をつくり、基本的生活習慣を確立し自律した生活を送る力を育てる。また基礎学力を身に付け自分で考えて行動する力を伸ばし多様な学習と経験で豊かな心を育てる。さらに人間関係、集団参加、社会参加をふまえ社会性を伸ばし、自尊感情を高め進路選択につなげる。

J学級：人間関係や集団参加の基本を身に付け自己の課題をとらえさせ、自己コントロールの力を伸ばし自律した生活を送る力をつける。また個に応じて学力を伸ばし理解力、表現力を高め、しなやかな心と体を育てる。さらに多様な学習と経験により適応力と自尊感情を高め、進路選択につなげる

■生徒の活躍

ソフトテニス部 11ブロック春季大会 男子団体 第三位

陸上部 男子4×100m R 46秒72 都大会出場(3-C)(3-B)(3-D)(3-C)(3-A)(3-B) (エントリー順)

野球部 夏季シード権大会 第三位